広報誌Ｎｏ.23　令和２年３月５日発行

アグリネット946（くしろ）

約 40 年前に取り組まれたイカダ下りプロジェクト（弟子屈町４Ｈクラブ 70 周年式典の資料より）

今年度の活動を振り返って

こんにちは！

前任の中山会長の後を引き継ぎ、２年間アグリネット 946 会長を務める白糠町の酪農家　五十嵐です。

昨年 12 月のアグリミーティングは標茶高校生と一緒に開催するようになって３年目を迎え、たくさんのご参加・ご協力の下、無事終了したことに感謝申し上げます。ありがとうございました！

高校生のプロジェクト発表を交えたアグリミーティングは、皆さんにとって意義のあるものとなったでしょうか。

また今年度は初めて夏に視察研修＋昼の交流会を行うことができました。各クラブ会員数が減少している中ですが、これからも若手農業者が楽しく交流し、学べる環境を整えていきたいと考えています！

さて、11 月には北海道 4H クラブ連絡協議会から、新体制の北海道アグリネットワークが誕生しました。

アグリネット 946 としても引き続き管内から役員を派遣して、可能な限り協力していきたいと考えています。

最後に本会の活動に対するご理解・行事へのご協力・イベント等への積極的な参加をお願い致しまして、会長の挨拶とさせて頂きます。今後ともよろしくお願いします。

【アグリネット 946 会長　　五十嵐　大地】

アグリネット 946 発足後 17 年目にして初の現地研修会

鶴居村農友会会員の牧場（株）伊藤デイリー視察

視察後はグリーンパーク鶴居で交流

アグリミーティング2019inくしろ

アグリネット946はアグリミーティング2017（平成29年）以降、管内で唯一農業を学ぶことができる北海道標茶高校から毎年２～３年生を招いた大会を開催しています。

非農家出身者が９割以上占める生徒に農業への理解を深めてもらおうと農業者の発表を聞いてもらったり、３つの会場に分かれて生徒の発表を聞きながら意見交換を行っています。

	所属	発表者	タイトル	釧路	全道
メッセージ	JA阿寒青年部４Hクラブ	今村恭法	酪農人であり続けるために		
	標茶町	佐藤辰也	自分を変えてくれた酪農	最優秀	
プロジェクト（畜産）	酪匠ＨＢＣ	荒岡宏文	古紙活用プロジェクト		
	白糠町４Ｈクラブ	佐藤和則	肉牛増頭計画	優秀	優秀
	標茶町	大宮睦美	良質粗飼料生産へのあくなき挑戦	最優秀	
標茶高校プロジェクト発表	食品ゼミ鹿班（安井さん他３名）		立ち上がれ「罠ガール」～ジビエで繋ぐ命と地域～		
	食品ゼミ牛乳班（岩田さん他３名）		乳製品で標茶町活性化プロジェクト　2nd　Season		
	畜産ゼミ機械班（高橋さん他１名）		廃材を再利用した農業機械　Made from scrap		

各クラブ会長が意見交換会を進行

地域の現状に関心を持つ高校生

若者に助言する千葉澄子指導農業士

高校生	●農業者のプロジェクト発表を聞いて、働きながら課題を見つけ解決する姿に感心しました。 ●もっと近い距離で農家の意見や経験談を聞きたい。年１回と言わず複数回、交流したい。 ●高校から近い地域の青年農業者と協力して、プロジェクトに取り組んでみたい。
高校教諭	●農家ならではの助言を得ることができるので、生徒にとって有意義な時間になっている。
農業者	●高校生発表は取り組み内容やプレゼンテーション・質疑がしっかりしていて素晴らしい。 ●高校生なりの夢や目標を聞くことができて楽しかった。 ●進行役は練習・人選が必要。各分科会に笑いの取れる青年を１人配置したら良いと思う。
関係機関	●地域の情報をもっと紹介できるよう勉強したいと感じた。 ●昼食時からグループに分かれ食べながら懇談を始めたら、もっと打ち解けられると思う。
道職員	●意見交換の時間をもう少し長くしたら良いと思う。 ●堅苦しさをなくすためには、もっと少人数に分かれて雑談形式にしたら発言が増えると感じた。
共通意見	●このような交流活動は継続していくことが大事。

アグリネット946では次年度も引き続き、標茶高校生を招いたアグリミーティングの開催に取り組みます。

北海道青年農業者会議に出場して

アグリメッセージ発表　標茶町　株式会社エフシーエス　佐藤辰也さん

今回初めてのアグリメッセージに出場し、自分の思いを人に伝える事が出来てよかったです。

色々な方々の話を聞いていると「あ！こんな考え方もあるんだ」と勉強になりました。

皆いろんな想いを熱心に語っていたので、心にグッと来るものがありました。

話を聴いていて「自分の発表に盛り込みきれなかった自分自身の思いを、いろいろな方々に伝えられたら良いな」と感じました。

農業に飛び込んで感じた感動を語った

プロジェクト発表（畜産経営部門）　標茶町　大宮睦美さん

全道青年農業者会議で良質粗飼料生産に関するプロジェクト発表を行いました。惜しくも全国の道は手にすることができませんでしたが、全道各地にいる若手農業者からいろんな刺激をもらい、来年もまた全道で発表できるように頑張りたいと思いました。

標茶町は４Ｈクラブがなくなってしまい、他のクラブ員との交流がなくなり非常に残念です。

今後また、標茶町の青年クラブが復活できるように微力ながら何か協力できたらいいなと思っています。

3度目の挑戦で全道発表を果たした大宮さん

プロジェクト発表（畜産経営部門）　白糠町４Ｈクラブ　佐藤和則さん

青年農業者会議では、地域の黒毛和牛飼養頭数の増加に向けて、私の牧場で行っている廃用牛導入と受精卵移植の酪農家連携について発表しました。

酪農家の発表ばかりでしたが、どうすれば地域の黒毛和牛生産が盛り上がるのか、考えていたことを発表できて嬉しく思っています。

惜しくも最優秀賞は取れませんでしたが、今後はクラブ員と連携した共同プロジェクトを行い、来年リベンジしたいと思います！

クラブ員も応援に駆けつけてくれました！

令和元年度の各クラブ活動紹介

弟子屈町４Ｈクラブ

昨年６月は新人歓迎会を開催！たこ焼きを囲みながら、皆で新人を歓迎しました！

７月はドローンを活用した取組を行うＮＴＴドコモと合同ドローン運行会を行い、活用事例についての情報交換や自動操縦によるドローン飛行を見学。

12 月は食育活動として過去のプロジェクト活動の題材になった牛乳もちを、小学生と一緒に作りました！

ドローン運行会で操縦方法を学ぶクラブ員

記念式典で挨拶に立つ郷司会長

また 11 月は創立 70 周年記念式典を開催しました。

過去に在籍したクラブ員や関係機関の方々が参加し、記念誌や記念品の配布、過去のクラブ活動をスライド上映するなど趣向を凝らした式典となり、クラブ員にとっても活動を振り返れる良い機会となりました。

酪匠ＨＢＣ

酪匠ＨＢＣは、２２歳から３１歳までの酪農家９名が所属しています。主に、視察研修・交流会を行い、和気あいあいと活動しています。

今年度は会員から「草地管理や哺育・育成施設について勉強したい」との声があり、中標津町にある酪農試験場で視察研修を行い、８名が参加しました！

酪農試験場のペレニアルライグラス試験ほを真剣に見るクラブ員

会員牧場の放牧地で情報交換

また、酪匠 HBC の恒例行事である会員牧場視察では会員内の放牧飼養農家が集まり、実際に放牧地での牛の様子を見ながら放牧方法や施設整備について情報交換しました。

どちらも今後の参考となる有意義な視察研修となりました。

JA 阿寒青年部４Ｈクラブ

令和元年度は地域酪農家との交流による活性化と活動費の確保を目的に牛舎のウォーターカップ清掃事業を昨年度に引き続き実施しました。

今年度は ４ 戸から申込みがあり、クラブ員が日程調整を行いながら、７月・10 月の２回に分けて依頼者の牧場を訪問しました。

清掃作業に参加したクラブ員からは「普段なかなか別の酪農家の牛舎を訪問することがないので勉強になった」、「地域貢献にもつながり、やりがいがある」等の声があり、４Ｈクラブのモチベーション向上にも寄与しています。

今後も地域との関わりを大切にしながら、精力的な活動を続けていきます。

汚れていたウォーターカップがこんなに綺麗になりました！

白糠町４Ｈクラブ

今年度は春に長年クラブを盛り上げてくれた先輩の送別会を行いました！

また、４月には獣医師の勉強会、５月には管内の育成牧場の視察、11 月にはロボット搾乳牛舎の視察など精力的に活動しています。

育成預託牧場で育成管理を学びました

今年のプロジェクト案が続々出ています！

今年１月には和牛繁殖経営を行うクラブ員が全道青年農業者会議に出場し、優秀賞を受賞できました！

今後は酪農家のクラブ員と連携したプロジェクトを行い、活動の幅を広げていく予定です。

その他にも、育成管理や乾乳管理などに注目した様々なプロジェクト案が出ていて、今後の活動に期待が膨らみます!

鶴居村農友会

今年度はプロジェクト活動をお休みして、アグリネット946夏季研修会の開催地として他の４Ｈクラブとの親睦を深めたり、鶴居村大石村長との意見交換会、学習会活動を行うなど地固めの年となりました。

学習会では獣医師を講師に招き、昨年度のプロジェクトテーマであった「繁殖管理」について講義していただきました。活発な質問や意見交換が見られ、次期プロジェクトに向けた意欲の向上に繋がっていると思います。

今年度の活動を土台に、来年度の鶴居村農友会は「ワンチーム」で活動していきます。

獣医師を講師に迎えた学習会

北海道アグリネットワーク発足と活動について

昨年11月に北海道アグリネットワークが発足しました。この会が北海道４Ｈクラブ連絡協議会（道連）に代わって、令和元年度から北海道青年農業者会議を開催しています。

道連は加盟振興局（空知・根室・宗谷・胆振）４Ｈクラブ連絡協議会と日高・釧路の個人加盟者によって運営して来ましたが、北海道アグリネットワークは全道９ブロックの青年農業者が集まって大会を運営する体制に変わりました。

一方、道連は北海道アグリネットワークを応援する団体として形を変えて存続します。

道連の役員体制は青年のみでしたが、今後は北海道アグリネットワーク役員に加えて、新たに北海道庁・振興局・普及センター・民間企業（賛助会員）も参画する体制が検討されています。

民間企業から協賛金を募り、北海道青年農業者会議の充実や北海道アグリネットワークの活動支援を行います。

釧路管内から派遣する役員は平成30年度から２年間、アグリネット946前会長の中山貴裕さん（酪匠ＨＢＣ）が務めましたが、今後は鹿野諒太さん（白糠町４Ｈクラブ）を後任とすることが2/19の役員会において決定しました。

管内の皆さんのご理解・ご協力をお願いすると共に、鹿野さんには全道とのパイプ役として頑張ってきて欲しいです。

北海道アグリネットワーク

青年農業者会議を企画・運営

＜各地域からの役員数＞

空知２名　石狩１名　オホーツク１名
十勝１名　釧路１名　根室１名
上川・留萌・宗谷ブロック１名
後志・胆振・日高ブロック２名
渡島・檜山ブロック１名

北海道４Ｈクラブ連絡協議会

民間企業から協賛を募って大会をサポート

初の試みとして大会２日目に開催されたスマート農業セミナー

発行：アグリネット９４６　　内容に関するお問い合わせは、釧路農業改良普及センター（TEL015-485-2514）まで